



迷走する日本の『電動モビリティ』 を検証する

日時：2024年7月13日(土) 16:00～18:00

場所：大東文化会館 K302 号室 (〒175-0083 東京都板橋区徳丸2丁目4番21号 / 東武練馬駅徒歩3分)

主催：大東文化大学社会学研究所 自転車とツーリズム・まちづくり研究会

対象：教員、学生、一般、オンライン (zoom 配信)

参加方法：参加無料

対面参加は申し込み不要です。オンライン参加希望の方は
右記のリンク・QRコードより事前に申し込みください。



<https://x.gd/l1V2v>

<趣旨>

日本の電動モビリティは、ここ数年、テクノロジーの進化に伴い、キックボード、電動アシストなど多くの種類が路上を走るようになり、新しい交通手段のなかで「電動」が重要なキーワードになりつつある。一方で、走行上の安全性や従来の交通ルールとの整合性なども不十分とされており、まだまだ解決すべき問題が多い。自転車問題評論家で電動モビリティの課題について活発に発信している本研究所の客員研究員・疋田智氏と、台湾生まれの世界的 e-bike メーカー「ベスビー」の日本代表を務める澤山俊明氏をお招きし、本研究所の研究テーマである「日常と非日常の自転車利用」につながる電動モビリティの将来と今日の課題を考える。

<プログラム>

スピーチ1 (30分)：疋田智 (大東文化大学社会学研究所客員研究員、自転車問題評論家)

『電ジャラス自転車』が日本で蔓延する理由

スピーチ2 (30分)：澤山俊明 (ベスビー・ジャパン代表)

「日本および海外における e-Bike の進化と変遷、未来の方向性」

ディスカッションおよび Q&A (60分)：疋田氏、澤山氏、本研究所メンバー

<登壇者経歴>

疋田智 (ひきたさとし) 1966年宮崎県生まれ。東京大学大学院工学系研究科修了。博士 (Ph.D. 環境情報学・都市大)。自宅から会社までの通勤に自転車を使う“自転車ツーキニスト”として、自転車行政の形、理想的な都市交通のあり方などを論ずる。TBS ラジオ「ミラクル・サイクル・ライフ」パーソナリティ、NPO 法人自転車活用推進研究会理事。著書に「電動アシスト自転車を使いつくす本」(東京書籍)「自転車の安全鉄則」(朝日新書)など。
<https://hikitabike.com/>



澤山俊明 (さわやまとしあき) 1976年京都府京都市生まれ。立命館大学政策科学部卒業後、カルチャ・コンビニエンス・クラブなどを経て、「ソウ・ツー」「オギヤマサイクル」「モトベロ・プラス」などで自転車ビジネスに関わるようになり、2017年にベスビー・ジャパンの代表取締役役に就任。

